

令和元年度 神奈川県立逗子高等学校 不祥事ゼロプログラムの検証結果

○ 項目・目標別実施結果

項 目	目 標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上	公務員としての自覚を持ち、法令順守及び倫理意識を徹底する。	<ul style="list-style-type: none"> ・4月当初に「懲戒処分の方針」改訂の背景や趣旨、「神奈川県職員行動方針」を確認し、全職員に意識啓発・注意喚起を行った。 ・5月：不祥事防止啓発資料「適切な県民応対・保護者応対」を配付し、職員の意識向上を図るとともに、事故不祥事防止会議で各自チェックを行った。 ・8月：不祥事防止啓発資料「服務基準の順守」を配付し、職員の意識向上を図るとともに、事故不祥事防止会議で各自チェックを行った。 ・1月：不祥事防止啓発資料「諸手当の不正な受給」を配付し、職員の意識向上を図るとともに、事故不祥事防止会議で各自チェックを行った。 ・2月：不祥事防止啓発資料「公務外非行の未然防止」を配付し、職員の意識向上を図るとともに、事故不祥事防止会議で各自チェックを行った。
わいせつ・セクハラ行為の防止	わいせつ・セクハラ行為を未然に防止する。	<ul style="list-style-type: none"> ・教育実習期間に合わせ、チェックシートを配付し、職員の意識向上を図った。 ・6月：不祥事防止啓発資料「わいせつ・スクールセクハラ防止」を配付し、職員の意識向上を図るとともに、事故不祥事防止会議で各自チェックを行った。 ・12月：外部講師による校内人権研修会を実施した。
体罰、不適切な指導の防止	体罰、不適切指導を未然に防止する。	<ul style="list-style-type: none"> ・体罰の禁止および生徒理解に基づく指導について、「体罰防止ガイドライン」等を活用し、体罰によらない指導への理解を深めた。 ・7月：不祥事防止啓発資料「体罰、不適切な指導の防止」を配付し、職員の意識向上を図るとともに、事故不祥事防止会議で各自チェックを行った。 ・3月：不祥事防止啓発資料「人権に配慮した指導」を配付し、職員の意識向上を図るとともに、事故不祥事防止会議で各自チェックを行った。
入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	点検業務の必要性を理解し、ミスが事故に繋がらないような点検体制を構築して、事故を根絶する。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験作成や成績処理業務における点検の流れとチェック体制を再確認し、確実に運用した。 ・進路関係書類等の作成・発行の手順・分担を再確認し、職員同士の相互チェック機能を強化して組織的に取り組んだ。 ・6月：不祥事防止啓発資料「定期試験・成績処理の事故防止」を配付し、職員の意識向上を図るとともに、事故不祥事防止会議で各自チェックを行った。 ・12月：不祥事防止啓発資料「入学者選抜の事故防止」を配付し、職員の意識向上を図るとともに、事故不祥事防止会議で各自チェックを行った。 ・1月、2月：入学者選抜に係る「校内マニュアル」に沿った確実な業務遂行を行った。

<p>個人情報の管理（教務手帳の管理、メールアドレス等の取得・管理）、情報セキュリティ対策（パスワードの設定、誤廃棄防止）</p>	<p>個人情報の管理を徹底し、個人情報の流出等の事故を未然に防止する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・主な行政文書の保存期間の目安に係る参考資料やファイル基準表を再確認し、個人情報の紛失や誤廃棄などの未然防止に努めた。 ・4月：不祥事防止啓発資料「行政文書の取扱い」を配付し、職員の意識向上を図るとともに、事故不祥事防止会議で各自チェックを行った。 ・5月：教務手帳の管理や定期テスト答案の取扱いに係るルールを徹底し、事故防止を図った。 ・9月：不祥事防止啓発資料「個人情報の取扱・情報セキュリティ」を配付し、職員の意識向上を図るとともに、事故不祥事防止会議で各自チェックを行った。
<p>交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守</p>	<p>交通法規を遵守し、交通事故の未然防止に努める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・11月：不祥事防止啓発資料「交通事故防止・交通法規の遵守」を配付し、職員の意識向上を図るとともに、事故不祥事防止会議で各自チェックを行った。
<p>会計事務等の適正執行</p>	<p>私費会計処理における事故を未然に防止する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・私費会計取り扱いマニュアル」を再点検するとともに、会計監査や財務事務調査で指摘された課題や指導事項を全職員に周知・共有し、改善を図った。 ・5月：口座振替に向けた分担とスケジュールを明確にし、遺漏なく実施した。 ・10月：不祥事防止啓発資料「会計事務、物品管理等」を配付し、職員の意識向上を図るとともに、事故不祥事防止会議で各自チェックを行った。

○ 令和元年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和2年度に取り組むべき課題

（学校長意見）

毎月の定例職員会議に併設して行う事故防止会議では、県教育委員会作成の不祥事防止啓発資料をもとに月毎のテーマに関するグループが持ち回りで分担して啓発活動を行い、効果的な啓発ができた。また、今年度は「わいせつ・セクハラ行為に係る効果的な防止対策」及び「経験の浅い教職員（採用5年以内）による不祥事の防止」を特に強化取組方針として重点的に取り組み、「わいせつ・セクハラ事案」については新聞報道等があるたびに朝の打ち合わせ等で校長より全職員に周知及び注意喚起を行った。さらに、若手教員や教育実習生への事故・不祥事防止研修会を実施し、若年層への意識啓発にも努めた。

検証結果に記した諸々の取組により、今年度も大きな事故や不祥事は防止できたが、小さなミスは随所で見られた。次年度に向けても、様々な項目・観点からの事故防止会議を開催し、職員への注意喚起や意識啓発に努めていきたい。また次年度も引き続き、「わいせつ・セクハラ行為に係る効果的な防止対策」及び「経験の浅い教職員（採用5年以内）による不祥事の防止」を強化取組方針として重点的に取り組んでいきたい。